



令和7年1月22日

関係各位

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟
代表理事 木村 健二

**全日本ノルディック・ウォーク連盟 終身会長
宮下充正先生ご逝去のお知らせ**

当連盟の終身会長でいらしゃった宮下充正先生(東京大学名誉教授)は、かねてより療養中でしたが2025年1月3日にご逝去されましたのでお知らせ申し上げます。享年88歳

宮下先生は2009年10月、全日本ノルディック・ウォーク連盟創始者として初代会長に就任いただき、その後「わが命尽きるまで」と終身会長として私どもに15年間の長きにわたりノルディック・ウォークに関するご指導をいただきました。

2009年5月には全日本ノルディック・ウォーク連盟設立のきっかけとなったIVVオリンピック大会・富士河口湖大会をアジア初の大会として招致、開催されヨーロッパを中心とする世界22カ国から9000余名(国内からの参加者も含む)の参加者を集め無事成功裡に導かれました。

国際市民スポーツ連盟IVVの筆頭副会長として国内外でご活躍された宮下先生は、その後ルクセンブルグのIVV総会にてアジア市民スポーツ連盟の会長に指名され日本をはじめとする韓国、中国、台湾の4カ国のリーダーとして更なるご活躍をされることとなり2022年韓国順天市での第一回アジアピアドを始め日本、台湾、インドネシアでのアジアピアドを主導されました。

我が全日本ノルディック・ウォーク連盟では起源である北欧のノルディックスキー選手のトレーニングとしてはじまったノルディックウォーキングをベースに運動強度別の指導理論を構築、更には高齢社会に役立つメディカルノルディックウォーキングに至るまでを体系化され国内の有力な医師団と共に新たに日本ノルディック・ポール・ウォーク学会の設立にも尽力され当連盟の指導と共に飽くなき探求心の下、国民の健康維持・増進に関する研究と実践という形で具現化され人生をささげられました。

全日本ノルディック・ウォーク連盟は、宮下充正会長の教えを胸に今後もアジアをはじめとする世界の高齢化社会に対して貢献できるよう尽力して参ります。

宮下会長のご冥福をお祈り申し上げますと共に長きにわたるご指導有難うございました。

※追記

JNWL 全日本ノルディック・ウォーク連盟では今後ホームページにおきまして新たに「創始者／宮下充正 **Founders**」のページを新設し先生の御功績を連盟指導者の総てが未来永劫語り継ぎますよう準備を進めて参ります。